



記念式典では、兵教組歴代執行委員長をはじめ、兵政連功労者、日教組・兵教組・地域組合の専従経験者、研究所永年研究所員など70人に感謝状をおくり、功績をたたえた。

あれから70年、今、兵庫では教職員の世代交代が急速にすすみ、この10年で組合員の半数が入れ替わった。これまでの運動の歴史や成果からみても、労働組合の存在意義は重要なものがある。少子化による教職員数の減少や学

校の統廃合もあり、兵教組への加入は、退職組合員数に追いついていないのが現状。次代を担う青年層にこれまでの運動の歴史や教育実践を継ぎ、日常的に「組合活動の見える化」運動をすすめていかなければならない。

8月7日、8日の2日間で、第44回教育課程編成講座が開催予定だったが、7日の前期(課題別分科会)は台風の影響もあり、残念ながら中止となった。開催された後期の講演会では、畑中通夫さん(施設で生活する子どもたち支援研究会共同研究者)が「施設で生活する子どもたち支援研究会」10年のあゆみと今後の課題」と題して講演をおこなった。

子どもたちのことを考えられないのは問題だ。「結婚式の話を聞き、改めて子どもにとって心の支えとなる場所の存在の大切さを感じた」などの感想があった。午後からは、10の教科系分科会が開催された。協力研究所員や研究所員を中心に、全国教研の還流や、授業で役立つワークショップ、実技などの講座が企画された。参加者は熱心に討議し、地域間交流をおこなった。

われら教職員2万は小異をすてて大同につき、起つて兵庫県教職員組合を結成した。われらは全力を結集し、先ず組合員の経済的社会的政治的地位の向上をはかるとともに新学制の完成実施の推進力となり、以つてその民主的教育の建設に邁進する。教育に深き理解あり憂いを同じくする県民各位の支援を切に要望して止まない

上記の声明書は、結成総会でのものだ。兵教組は結成当初から、教職員の生活と労働条件の改善とともに、子どもたちの教育の充実を運動の中心課題にすえ、保護者や地域の人々とともに歩むという願いをもつていたことがよくわかる。

グローバル化がすすむ中、私たちがめざす社会は、「教え子」を再び戦場に送るな!」のスローガンの下、平和憲法を守り、子どもの権利条約の理念を生かすこと、そして、働き方改革をすすめる、長時間労働を是正し、大多数のまじめに働く人たちが、将来に希望と安心が持てる道筋を示すことではないか。

参加者からは、「地域や学校が連携して、自立した子どもを育てていけるようにいろいろな方面への働きかけが必要だと感じた」「おとなの都合で施設に入らざるを得ない子のほうが多いのに、なかなか地域全体で

次期学習指導要領が告示され、今後学校現場では移行期の教育課程をどのように編成していくのかについて議論がされる。私たちは引き続き、「ゆたかな学び」を具現化するための教育課程の創造的編成にとりくむとともに、体験を通して、ゆたかな人間性や社会性をはぐくみ、「生きる力」を身につける等、子どもが主体となる創意工夫をこらした教育実践をすすめていく必要がある。編成講座での学びを生かした実践を、今秋の第67次兵庫県教育研究集会においてさらに討議を深めたい。

1947年7月10日、当時の明石女子師範付属小学校で結成総会をおこなって以来、兵教組は、運動の原点でもある日本国憲法の施行と教育基本法の公布70年とともに歩んできたといつても過言ではない。

より開かれた兵教組運動を県民とともに発展させていく

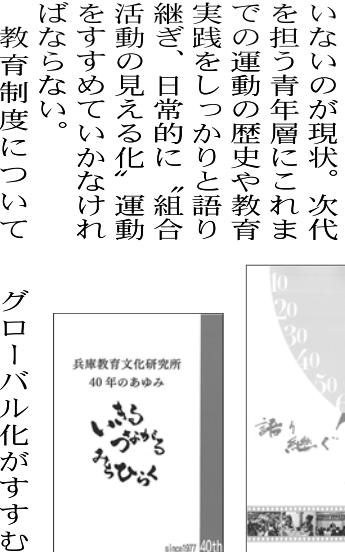
教育制度については、2006年の教育基本法「改正」以降、全国学力学習状況調査の実施、道徳の教科化、小学校外国語活動、教育委員会制度など、学校現場や子どもの実態とはかけ離れた制度や法改正が続いている。子どもたちを目標達成にむけて追い立てることにならないよう、子どもの貧困問題など格差を是正し、子どもの最善の利益・ゆたかな学びが保障されるようとりくむ必要がある。

結成60周年では、兵教組運動の語り継ぎをテーマに記念誌を発刊した。この70周年では、研究所「40年のあゆみ」をすべての組合員に配付し、教育研究活動の意義や全国教研で評価の高かった実践を掲載して、教育研究や実践の継承につなげていくことを決意する。

子どもたちのことを考えられないのは問題だ。「結婚式の話を聞き、改めて子どもにとって心の支えとなる場所の存在の大切さを感じた」などの感想があった。午後からは、10の教科系分科会が開催された。協力研究所員や研究所員を中心に、全国教研の還流や、授業で役立つワークショップ、実技などの講座が企画された。参加者は熱心に討議し、地域間交流をおこなった。

9月10日、ラッセホールで兵庫県教職員組合結成70周年、兵庫教育文化研究所設立40周年の記念式典と祝賀レセプションがおこなわれた。記念式典では、日教組・兵教組並びに研究所の充実・発展に尽力いただいた70人に感謝状と記念品が贈呈された。

川原 芳和
中央執行委員長



子どもたちのことを考えられないのは問題だ。「結婚式の話を聞き、改めて子どもにとって心の支えとなる場所の存在の大切さを感じた」などの感想があった。午後からは、10の教科系分科会が開催された。協力研究所員や研究所員を中心に、全国教研の還流や、授業で役立つワークショップ、実技などの講座が企画された。参加者は熱心に討議し、地域間交流をおこなった。

70th Anniversary 兵教組結成70周年 兵庫教育文化研究所40周年



教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原 芳和
編集人 西嶋 保子
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2017/10・1
No. 1938
2面
・なぜ「開かれた教研」をめざすのか

第44回教育課程編成講座
授業づくりへのよい刺激に
全国教研の還流や授業実践など
参加することで学びのヒントをえる機会に

(一財)兵庫県学校厚生会

親睦
クリスマスパーティー

開催日時 2017年12月2日(土) 17:30~20:30
会場 ホテル北野プラザ六甲荘

募集対象 現職会員・現職準会員・
会員以外の公立学校臨時教職員(いずれも本人)
※25歳から45歳までの独身の方

募集人数 男性30名・女性30名

参加費 1人3,000円 ※1月給与引去り
会員以外の臨時教職員は3,500円
(支払方法は「参加決定通知」でご案内します)

申込締切 11月10日(金) [必着]
※締切後、ご自宅あてに「参加決定通知」を送付します

特に
男性の方
大歓迎!

毎日自宅と職場の往復で、新たな出会いのチャンスがなかなかない...とお悩みの皆さんに、厚生会は素敵な出会いをお手伝いしています。
昨年は、おかげさまで男女合計102名の方々に参加していただきました!今回はグループで会話をしながら、お食事を楽しんでいただける内容となっていますので、1人参加や初参加の方も気軽に申し込んでください!

スケジュール(予定)

●17:30 開会
●食事をしながらのグルーptークタイム
*ビュッフェ・フリードリンク
●19:45ごろ カップリング記入
●20:10ごろ カップリング発表
●20:30 閉会

■主催 (一財) 兵庫県学校厚生会 ■協賛 (公財) 日本教育公務員弘済会 兵庫支部

お申込み
お問合せ

(一財)兵庫県学校厚生会 事業企画部福祉課
(〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-7-34)
TEL (078) 331-9968 FAX (078) 322-3582
スマイルポート <http://www.kouseikai.or.jp/>

第67次兵庫県教育研究集会 ひょうご教育フェスティバル

11月11、12日 西宮市で開催!



「地域・保護者との結びつきを強める」ということが、私たちが教育活動に、地域・保護者と信頼関係を築き、課題意識を共有すること、よりよいものとなる。その中で、教職員組合が「自分たちの労働条件のことだけを考えている団

体」だと受けとめられることは、マイナスにしかならない。「教育フェスティバル」は、「教職員が子どもたちのことを考え、自分たちの教育力を高めるために、努力している」ことを知ってもらう、絶対の機会なのである。そこに参加してもらいやすいように、教育委員会などの後援をとり、チラシやポスターを作成したりもしている。また、フェスティバルの楽しいイベントだけでなく、県民大学の講演や分科会に参加していただける方があれば、課題意識を共有することにもつながっていく。さらに一歩すすんで、討議に参加していただく「地域リポーター」は、私たちのよき理解者・強力な味方になっていただける可能性もある。以前とは違い、保護者・地域と労



昨年のジェンダー平等（男女共生）教育

今年の「県教研」は、11月11日、12日に西宮市の浜脇小・浜脇中学校で開催される。ぜひそのよさを体験していただきたい。

なぜ「開かれた教研」をめざすのか

「教研集会」と聞いて頭に浮かぶのは、それぞれの地域でこの「開かれた教研」では、なにか、地域組合によって違っている。一人ひとりの分科会がリポートを、書いて分科会内で討議して決めることもあれば、分科会内で分担任してひとつのリポートを作成することもある。他の方法も含めいづれにせよ、分科会での検討（＝分科会教研）を受けて「地域教研」

「地域教研」は、近き年「開かれた教研」をめざし、開催している。以前は、「教研集会」といえば分科会のことであり、平日の夕刻に開催していた地域組合も多かったのではないだろうか。それが「教育フェスティバル」となって、休日や長期休業中に開催したり、子どもや地域・保護者の方も参加しやすくなるように、教育委員会などの後援をとり、チラシやポスターを作成したりもしている。また、フェスティバルの楽しいイベントだけでなく、県民大学の講演や分科会に参加していただける方があれば、課題意識を共有することにもつながっていく。さらに一歩すすんで、討議に参加していただく「地域リポーター」は、私たちのよき理解者・強力な味方になっていただける可能性もある。以前とは違い、保護者・地域と労

地域・保護者との結びつきを強め、ともに学び合う



昨年の県教研オープニング

リポートを持参し、他の分科会の組合員と一緒に討議する。そして各分科会代表に選出されたりリポーターが「県教研」に参加し、県内の仲間と討議を重ね、その成果を持ち

このように、「分科会」を起点とし、「地域教研（支部教研）」「県教研」「全国教研」と討議を積み上げていく。それぞれの段階で討議を積み上げていくことで、リポートの内容や視点が深まり、よりよいものとなっていく。兵庫では、1951年の第1回教研集会以来、一貫してこの「組織教研」にとりくみ続けてきている。これは、全国の教職員組合が大事にしてきたことだが、一方で、兵庫のように丁寧な「組織教研」を継続できているところばかりではないのも事実である。こうした各段階で磨かれたリポートだからこそ、兵庫から全国教研に選出されたリポートは、高い評価を受け続けているのだ。

この兵庫の「教研集会」を支えるもう一つの組織が、「兵庫教育文化研究所」の各研究部会である。別表のように20の部会があり、それぞれの部会には10人弱で構成されている。部会には大学などの研究者にも参加していただいているが、「教

研活動はトップダウンではなく、学校現場に根ざしたものでなければならぬ」という考えのもとで、学校の現場の組合員が多数を占めている。この研究部会のみならず、県内各地の「地域教研（支部教研）」の共同研究者や、「県教研」で

の司会者・共同研究者として運営に携わっていただいている。毎年400本を超えるリポートが集まるにもかかわらず適切に分科会を運営できているのは、この研究部会があるからこそである。そして、全国教研では、この研究部会の代表の方もリポーターとして参加される。選出されたリポーターにとっては、県教研の

分科会で討議に参加していた方が一緒に参加することは心強いのではないだろうか。このような全県での取り組みにより、兵庫の教研集会・教研リポートはよりよいものになり、それを参加者が地域で還元することでよい循環が生まれるのではないかと考えている。その還元の場合は、各地域組合でおこなわれている「教研選流集会」であり、夏季休業中にラッセホール等で開催される「教育課程編成講座」である。県教研や全国教研での学びを多くの組合員で共有し、学校現場で子どもたちに返していけるこの仕組みも、兵庫の特色といえるだろう。

「教研集会」って、何ですか？

―組織教研を含めた、教研集会のしくみ―



大野 圭一
研究所事務局長

私たちが子どもたちのために学びつづけることの大切さ

別表 研究部会一覧

- 日本語教育
- 外国語教育
- 社会科教育
- 算数・数学教育
- 理科教育
- 美術教育
- 音楽教育
- 技術・家庭科教育
- 保健・体育
- 生活指導
- 人権教育
- インクルーシブ教育
- 多文化共生教育
- ジェンダー平等教育
- 食・環境教育
- 平和教育
- 情報社会の教育と文化活動
- 教育課程
- 学校行財政
- 防災教育

秋のバンケットプラン

懇親会・交流会・同窓会など気の合う仲間と楽しいひとときを

buffet形式にすると、料理が一品(おまかせ)追加でさらにお得に! お料理+フリードリンク

プラス フリードリンク

2017年9/1(金) ▶▶ 2017年11/30(木)

2時間制
20名
様から



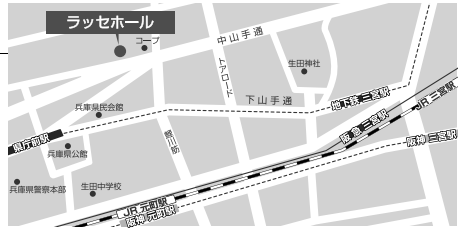
注意事項

※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。
※料金には、お料理、フリードリンク、音響・照明費(ワイヤレスマイク2本付)、会場費(2時間)、税金、サービス料が含まれております。
※ご延長の際は30分につきお一人様500円(税金・サービス料込)の追加料金をいただきます。
※当日キャンセルの場合は、全額キャンセル料としていただきます。
※当日にご利用人数が増えた場合は、別途料金を頂戴いたします。

その他、オプション等、多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合わせはこちら 078-291-1110
お問い合わせ時間 平日・土 9:00~19:00 日・祝 9:00~18:00

ラッセホール
〒650-0004
兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-8
TEL.078-291-1117 (代表)
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com



華はな

- 中華前菜3種盛り
- 鳥賊と秋野菜のトマト煮
- 二種の太巻き寿司
- コーヒードリンク(ブッフェコーナーにてご提供)
- 蒸し鶏のサラダ仕立て
- ポークの一口カツ フライドポテト添え
- 挽き蕎麦
- お一人様 5,000円 (税金・サービス料込)
- サーモンのたたき 芥子酢味噌
- ハッシュドビーフ ストード添え
- デザート(ブッフェコーナーにてご提供)

彩いろどり

- 鯛と青紫蘇のカリパッショ風サラダ
- 豚バラ肉の茄子、エリンギきりぎりしソース
- にぎり寿司と押し寿司
- フルーツ&デザート(ブッフェコーナーにてご提供)
- スモークサーモンと秋刀魚レモン
- 若鶏と秋野菜の照り焼き 柚子胡椒風味
- 挽き蕎麦
- お一人様 6,500円 (税金・サービス料込)
- お造り二種盛合せ(鮎、鳥賊)
- 牛肉の煮込み

雅みやび

- 南菜五種盛り込み
- 秋刀魚の竜田揚げ 黒酢ソース
- にぎり寿司三種
- コーヒードリンク(ブッフェコーナーにてご提供)
- お造り三種盛合せ
- 蓮根饅頭 木ノ子餡かけ
- 挽き蕎麦
- お一人様 6,500円 (税金・サービス料込)
- 若鶏の味噌漬け焼き
- 豚ばら肉と根菜の炊き合せ
- フルーツ&デザート(ブッフェコーナーにてご提供)

フリードリンク

- 瓶ビール ●焼酎(芋/麦) ●ウイスキー ●ハイボール ●赤/白ワイン ●日本酒 ●ウロン茶 ●オレンジジュース

※記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたしますのでご相談下さい。



※写真はイメージです。